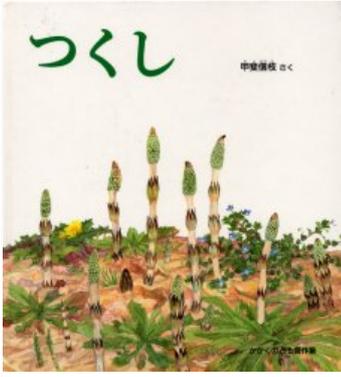




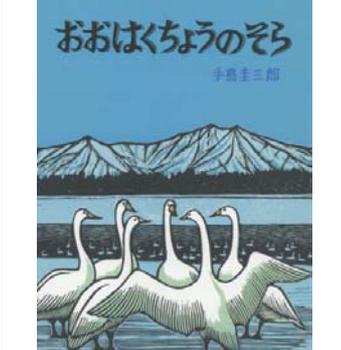
# おすすめ児童書2月

啓林堂書店 外商部  
 担当 森川・蔵田・渡辺・八部  
 Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151  
 e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp  
 啓林堂書店HP <http://www.books-keirindo.co.jp/>

## ▽ 幼稚園・保育園以上

|  |  |
|--|--|
|   | <p><b>はるのやまはザワザワ</b> 作・絵 村上康成 ￥1,512</p> <p>冬眠から覚めた子ぐまのグルルが見たものは、春めく山のいぶき。川の音。鳥の羽ばたく音……。春の訪れを知らせる楽しい音であふれていました。</p> <p>徳間書店：2001年 発売</p>               |
|  | <p><b>つくし</b> 作 甲斐信枝 ￥972</p> <p>わらべ唄に「つくしだれのこすぎなのこ、つくしはるですあそぼうよ」とあるように、春になるとよきによき立っているつくし。つくしについて書かれた科学絵本です。驚くことがたくさんありますよ。</p> <p>福音館書店：1997年 発売</p> |

## ▽ 小学生以上

|   |  |
|---|--|
|  | <p><b>まめまめくん</b> 文 デヴィッド・カリ<br/>     絵 セバスチャン・ムーラン ￥1,080<br/>     訳 ふしみみさを</p> <p>とても小さいまめまめくん。学校に行きはじめて初めて自分が人と違うことに気づきました。やがて、大人になったまめまめくんは、「自分だからできる事」を仕事にしました。</p> <p>あすなる書房：2016年 発売</p> |
|  | <p><b>おおはくちょうのそら</b> 文・絵 手島圭三郎 ￥1,836</p> <p>春が近づいて、おおはくちょう達は北の国へ帰り始めました。その中で出発を遅らせている6羽の家族がありました。その訳は……。自然は厳しくとても悲しいお話ですが、読んでよかったですと必ず思う1冊です。</p> <p>絵本塾出版：2015年 発売</p>                       |